

抗生物質について

① 抗生物質とは・・・

「抗生物質」とは、細菌による感染症や二次的な感染の予防に使われる薬です。



今日処方されたお薬の名前

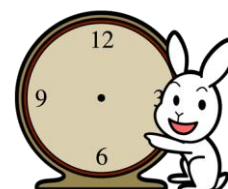
【 _____ 】

お薬の系統：

ペニシリン系 セフェム系 マクロライド系 テトラサイクリン系
ホスホマイシン系 その他（ _____ ）

② 服用するときの注意

・抗生物質の効果を発揮するためには、用法・用量を守って服用しましょう。



・お薬によってはジュースなどに混ぜると苦みが強くなる場合があります。
服用方法については薬剤師にご相談ください。



・抗生物質の効果が得られないまま長期使用を続けたり、のんだりのまなかつたりすると、効果が出ないだけでなく、抗生物質が効かなくなる「耐性菌」の発生につながることもあります。



・副作用がなければ、医師の指示通り最後まで服用を続けましょう。

③ 主な副作用

・主な副作用は、発疹やかゆみなどの皮膚症状、下痢・軟便・腹痛・食欲不振などの胃腸障害です。

・「副作用かな？」と思ったらすぐに中止するのではなく、医師か薬剤師に相談しましょう。



抗生物質について

① 抗生物質とは・・・

「抗生物質」とは、細菌による感染症や二次的な感染の予防に使われる薬です。



今日処方されたお薬の名前

【

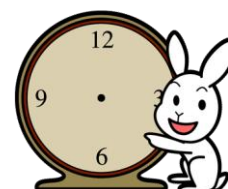
】

お薬の系統：

ペニシリン系 セフェム系 マクロライド系 テトラサイクリン系
ホスホマイシン系 その他（ ）

② 服用するときの注意

・抗生物質の効果を発揮するためには、用法・用量を守って服用しましょう。



・お薬によってはジュースなどに混ぜると苦みが強くなる場合があります。
服用方法については薬剤師にご相談ください。



・抗生物質の効果が得られないまま長期使用を続けたり、のんだりのまなかつたりすると、効果が出ないだけでなく、抗生物質が効かなくなる「耐性菌」の発生につながることもあります。



・副作用がなければ、医師の指示通り最後まで服用を続けましょう。

③ 主な副作用

・主な副作用は、発疹やかゆみなどの皮膚症状、下痢・軟便・腹痛・食欲不振などの胃腸障害です。

・「副作用かな？」と思ったらすぐに中止するのではなく、医師か薬剤師に相談しましょう。



抗生物質について

① 抗生物質とは・・・

「抗生物質」とは、細菌による感染症や二次的な感染の予防に使われる薬です。



今日処方されたお薬の名前

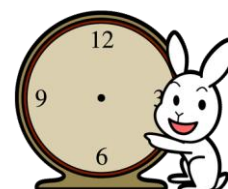
【 _____ 】

お薬の系統：

ペニシリン系 セフェム系 マクロライド系 テトラサイクリン系
ホスホマイシン系 その他（ _____ ）

② 服用するときの注意

・抗生物質の効果を発揮するためには、用法・用量を守って服用しましょう。



・お薬によってはジュースなどに混ぜると苦みが強くなる場合があります。
服用方法については薬剤師にご相談ください。



・抗生物質の効果が得られないまま長期使用を続けたり、のんだりのまなかつたりすると、効果が出ないだけでなく、抗生物質が効かなくなる「耐性菌」の発生につながることもあります。



・副作用がなければ、医師の指示通り最後まで服用を続けましょう。

③ 主な副作用

・主な副作用は、発疹やかゆみなどの皮膚症状、下痢・軟便・腹痛・食欲不振などの胃腸障害です。

・「副作用かな？」と思ったらすぐに中止するのではなく、医師か薬剤師に相談しましょう。



抗生物質について

① 抗生物質とは・・・

「抗生物質」とは、細菌による感染症や二次的な感染の予防に使われる薬です。



今日処方されたお薬の名前

【

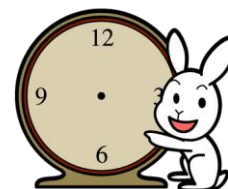
】

お薬の系統：

ペニシリン系 セフェム系 マクロライド系 テトラサイクリン系
ホスホマイシン系 その他（ ）

② 服用するときの注意

・抗生物質の効果を発揮するためには、用法・用量を守って服用しましょう。



・お薬によってはジュースなどに混ぜると苦みが強くなる場合があります。
服用方法については薬剤師にご相談ください。



・抗生物質の効果が得られないまま長期使用を続けたり、のんだりのまなかつたりすると、効果が出ないだけでなく、抗生物質が効かなくなる「耐性菌」の発生につながることもあります。



・副作用がなければ、医師の指示通り最後まで服用を続けましょう。

③ 主な副作用

・主な副作用は、発疹やかゆみなどの皮膚症状、下痢・軟便・腹痛・食欲不振などの胃腸障害です。

・「副作用かな？」と思ったらすぐに中止するのではなく、医師か薬剤師に相談しましょう。

